

第4章 所沢市移動円滑化の目標と基本方針

上位・関連計画との整合性やヒアリング結果等を踏まえ、所沢市としての移動円滑化の目標と基本方針を次のように設定します。

4-1 移動円滑化の目標

誰もが安心 どこでも安全 心のバリアフリータウン所沢

4-2 移動円滑化の基本方針

方針1 誰もが使いやすく、安全に移動できる空間をつくります

- 高齢者や身体障害者をはじめとするすべての人が円滑、安全に移動できるように、日々の暮らしを支える駅・駅前広場・道路等の諸施設について、ユニバーサルデザイン※の視点に立ってハード面のバリアフリー化を推進します。
- 特に駅周辺については、利用者が多く、現在抱えている問題点も多いことから、駅と駅に接続する駅前広場を含めた交通結節点として一体的にバリアフリー化を推進していきます。

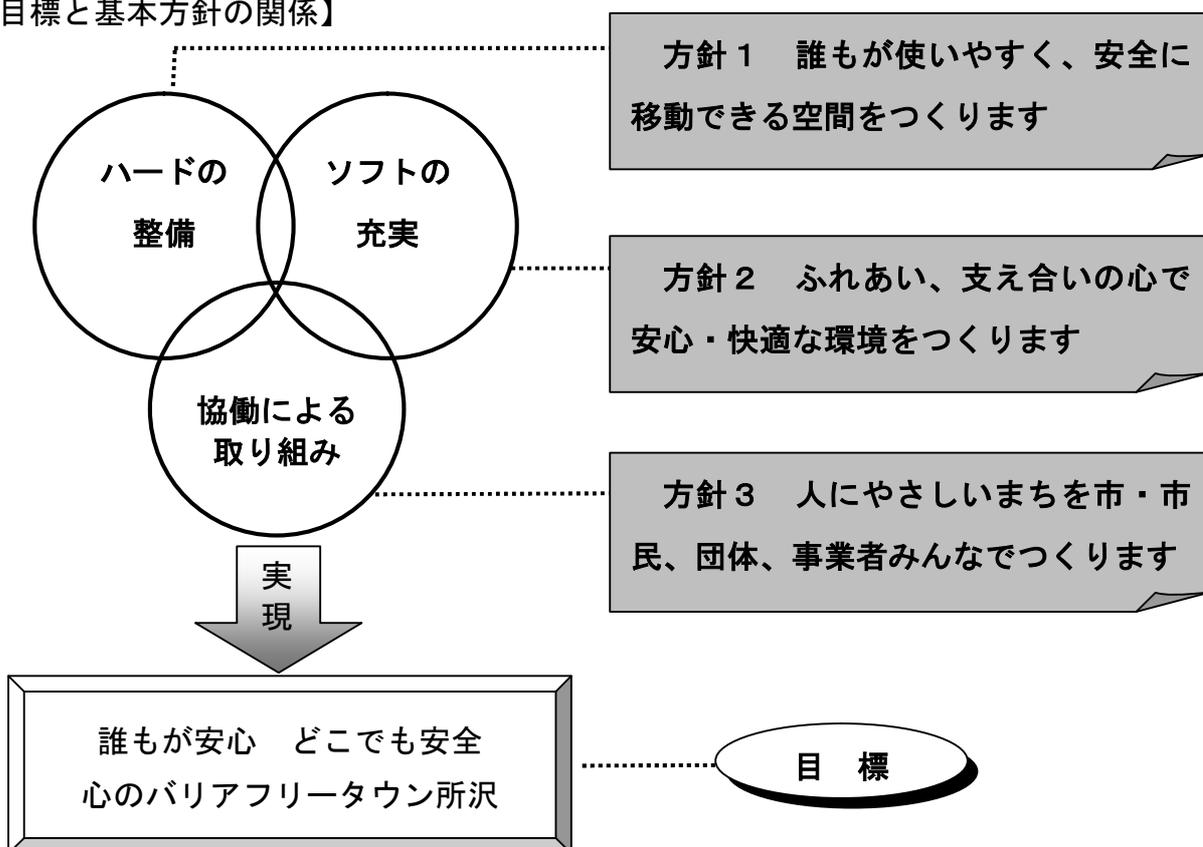
方針2 ふれあい、支え合いの心で安心・快適な環境をつくります

- 放置自転車や歩道上の立看板等が高齢者や身体障害者等にとって大きなバリアとなっているなど、心のバリアフリーが実現されていないという課題は、都市基盤の整備だけで解決するものではありません。諸施設の整備と両輪となってバリアフリーを進めるために条例や協定の制定、バリアフリーの意識を高揚するための啓発活動などのソフト施策を充実していきます。

方針3 人にやさしいまちを市・市民、団体、事業者みんなでつくります

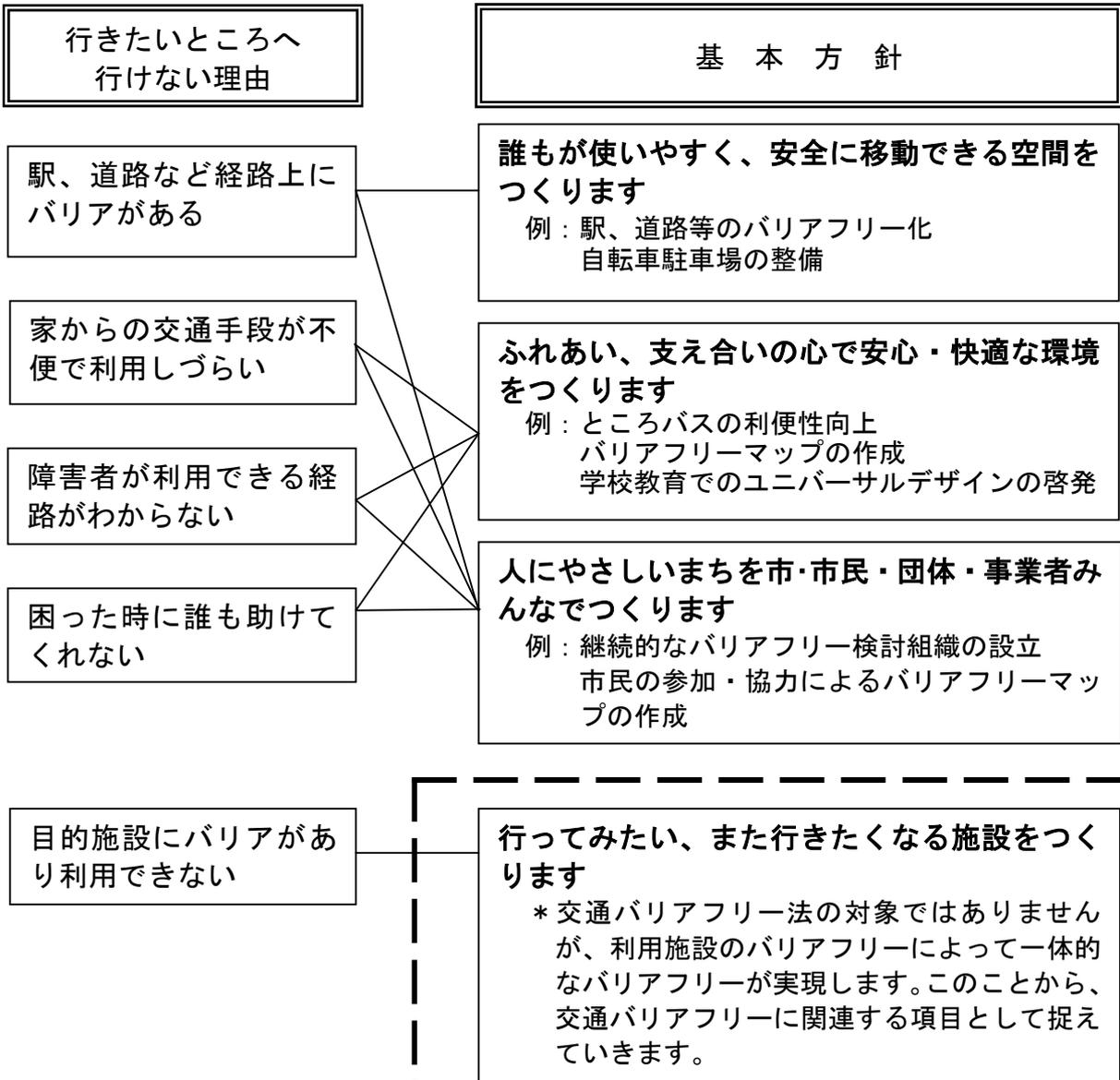
- バリアフリーは、市民、事業者等の積極的な理解・参加・協力のもと、市・市民、団体、事業者が目標や役割などを共有しながら推進する必要があります。
- 市・市民、団体、事業者が協働してバリアフリー化を進めるしくみをつくりま
す。

【目標と基本方針の関係】



※ユニバーサルデザイン：バリアフリーは、障害によりもたらされるバリア(障壁)に対処するとの考え方であるの対して、ユニバーサルデザインはあらかじめ、障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方

【目標達成に向けての問題点と基本方針の関係】



4-3 基本的な方向性

- 基本構想は、駅などの特定旅客施設から、概ね半径 500m~1km のエリア（重点整備地区）での主要な目的施設までの経路における交通バリアフリーの実現に向けた基本的な方向性を示すものです。

- 交通バリアフリーに関わるすべての整備は、市内全域で進めることが理想ですが、各事業者の財源にも限りがあり、これらを同時に行うことは事実上不可能といえます。このため、基本構想は優先性が高い地区を定め、効率的で効果的な整備を進めることを目的として策定しています。

- しかしながら、交通バリアフリーは重点整備地区内だけでなく、市内全域においてレベルの向上を図っていかねばなりません。

- したがって、先に掲げた基本構想における目標と基本方針は、重点整備地区だけでなく、市内全域において交通バリアフリーの実現を推進していく基本的な考え方とします。